

ヨコハマ3R夢プランの推進について

1 平成 23 年度の実績

ヨコハマ3R夢プランでは、燃やすごみなどのごみ量に、古紙や缶・びんなどの資源の量も加えたごみと資源の総量の削減を目標としており、平成 25 年度に平成 21 年度（基準年度）比 3%以上、平成 37 年度に 10%以上削減を目標としています。

また、ごみ処理に伴って発生する温室効果ガス排出量を、平成 25 年度に平成 21 年度（基準年度）比 10%以上、平成 37 年度に 50%以上削減を目標としています。

(1) ごみと資源の総量

平成 23 年度のごみと資源の総量は約 128 万 2 千トンで、平成 21 年度と比べ、約 6 千トン（0.5%）増加しました。

表 1 平成23年度のごみと資源の総量

【単位：トン】

	ごみと資源の総量						
		家庭系			事業系		
		ごみ量	資源化量 ^{※1}		ごみ量	資源化量 ^{※2}	
23年度	1,281,602	930,046	613,895	316,151	351,556	312,116	39,440
21年度差	6,158 (0.5%)	-2,787 (-0.3%)	2,596 (0.4%)	-5,382 (-1.7%)	8,945 (2.6%)	-6,313 (-2.0%)	15,257 (63.1%)
21年度 (基準年度)	1,275,444	932,833	611,299	321,533	342,611	318,429	24,183

・（ ）内数値は、平成 21 年度との比を示しています。

【項目の説明】

※¹ 家庭系の資源化量は、行政が回収した資源化量と資源集団回収量の合計です。

※² 事業系の資源化量は、学校給食残さの資源化量と事業者が生ごみや剪定枝を資源化した量の合計です。

(2) ごみ処理に伴って発生する温室効果ガス排出量

平成 23 年度の温室効果ガス排出量は約 25 万 3 千トンで、平成 21 年度と比べ、約 2 万 9 千トン（約 10.3%）減少しました。

表 2 平成23年度の温室効果ガス排出量

【単位：トン-CO₂】

	23年度	21年度 (基準年度)	差引
ごみ処理に伴って発生する 温室効果ガス排出量 [※]	252,906	282,027	-29,121 (-10.3%)

・（ ）内数値は、平成 21 年度との比を示しています。

【項目の説明】

※ ごみ処理に伴って発生する温室効果ガス排出量とは、次に掲げるものの合計です。

- ・ごみの焼却に伴って排出されるもの
- ・収集運搬等に伴って排出されるもの
- ・焼却工場、事務所等の運営に伴って排出されるもの
- ・ごみ発電による削減効果

2 平成 24 年度（4、5 月分）の状況

平成 24 年度におけるごみと資源の総量の削減目標は、21 年度比 2.25% 以上削減を目標にしております。

平成 24 年度 4、5 月のごみと資源の総量は約 21 万 8 千トンで、平成 21 年度と比べ、約 4 千トン（1.8%）増加しました。

表 3 平成 24 年 4、5 月のごみと資源の総量（速報値）

【単位：トン】

	ごみと資源の総量						
		家庭系			事業系		
		ごみ量	資源化量※ ¹		ごみ量	資源化量※ ²	
24年度	217,920	160,990	105,870	55,120	56,930	51,380	5,550
21年度差	3,926	877	1,044	-167	3,050	413	2,637
	(1.8%)	(0.5%)	(1.0%)	(-0.3%)	(5.7%)	(0.8%)	(90.5%)
21年度 (基準年度)	213,994	160,113	104,826	55,287	53,880	50,967	2,913

・平成 24 年度速報値は、10 トン未満を四捨五入しています。

・（ ）内数値は、平成 21 年度との比を示しています。

【項目の説明】

※¹ 家庭系の資源化量は、行政が回収した資源化量と資源集団回収量の合計です。

※² 事業系の資源化量は、学校給食残さの資源化量と事業者が生ごみや剪定枝を資源化した量の合計です。